



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社Rebase 上場取引所 東  
コード番号 5138 URL <https://www.rebase.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)佐藤 海  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)大辻 琢磨 (TEL)03(6271)4660  
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	844	—	204	—	197	—	128	—
2022年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	30.35	28.15
2022年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1 当社は2022年3月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の数値及び2023年3月期第3四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 2 当社は2022年8月31日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
- 3 当社は、2022年12月16日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2023年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,041	710	68.2
2022年3月期	796	413	51.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 710百万円 2022年3月期 413百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,156	29.9	235	11.4	228	8.4	146	4.8	33.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	4,600,000株	2022年3月期	4,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	一株	2022年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	4,218,909株	2022年3月期3Q	一株
------------	------------	------------	----

（注）1 当社は2022年3月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していませんため、期中平均株式数を記載していません。

2 当社は2022年8月31日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(追加情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に対する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社は前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により制限されていた経済社会活動が徐々に正常化し、景気も緩やかな改善の兆しがみられました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰や急速な円安進行等により物価上昇圧力が高まる中、回復傾向にあった個人消費は物価上昇に対する警戒から節約志向が強まっており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、対個人サービスや宿泊・飲食サービスでは、経済活動の正常化の進展に加え、「全国旅行支援」による旅行需要の回復や、水際対策の緩和によるインバウンド回復から改善の兆しが出ております。

当社が運営しているレンタルスペースのマッチングプラットフォーム「インスタベース」においては、テレワークやリモートワークのみならず行動制限の緩和に伴い、大人数利用の各種イベント、パーティーの需要増等、多様且つ多岐にわたり、空きスペースを利活用する需要が見られました。

このような状況下において、「インスタベース」では、大手企業とのサービス連携や決済手段の拡充、トップページのリニューアル、利用者向けキャンペーン企画やインフルエンサーマーケティングの展開、各種IoTサービスとの連携など、利用者ニーズの変化に対応したスペースの獲得、利便性向上および認知促進、掲載者の安全かつ効率的な運営管理の実現、UI/UX(※)の改善などを継続的に行なってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は844,387千円、営業利益は204,578千円、経常利益は197,810千円、四半期純利益は128,050千円となりました。

(※) UI/UXとはUser Interface/User Experienceの略称です。UIとはユーザーとサービスの接点であり、情報をやり取りするための方法、操作、デザインといった仕組みの総称を指し、UXとはユーザーがサービスを通じて得られる体験やそれに伴う感情を指します。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して245,427千円増加し、1,041,710千円となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により現金及び預金が216,516千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して51,902千円減少し、331,300千円となりました。これは主に、「インスタベース」の事業拡大に伴うスペース掲載者への支払予定額増加により預り金が100,861千円増加したこと、納税により未払法人税等が26,594千円減少したこと、返済により短期借入金が12,470千円減少し、長期借入金が75,010千円減少したこと、未払金が39,859千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して297,330千円増加し、710,410千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場にもなう新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ84,640千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が128,050千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、本日(2023年2月10日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	553,476	769,992
売掛金	73,498	98,630
貯蔵品	28	32
その他	14,660	19,282
流動資産合計	641,662	887,938
固定資産		
有形固定資産	58,478	52,919
無形固定資産	30,222	49,441
投資その他の資産	65,918	51,410
固定資産合計	154,619	153,772
資産合計	796,282	1,041,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	12,470	-
1年内返済予定の長期借入金	9,996	-
未払金	102,066	62,207
未払法人税等	55,172	28,577
預り金	69,797	170,658
その他	58,690	69,855
流動負債合計	308,192	331,300
固定負債		
長期借入金	75,010	-
固定負債合計	75,010	-
負債合計	383,202	331,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	82,750	167,390
資本剰余金	82,500	167,140
利益剰余金	247,829	375,880
株主資本合計	413,079	710,410
純資産合計	413,079	710,410
負債純資産合計	796,282	1,041,710

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	844,387
売上原価	17,725
売上総利益	826,661
販売費及び一般管理費	622,083
営業利益	204,578
営業外収益	
受取利息	2
返金辞退額	2
その他	0
営業外収益合計	5
営業外費用	
支払利息	19
上場関連費用	6,704
その他	49
営業外費用合計	6,773
経常利益	197,810
税引前四半期純利益	197,810
法人税、住民税及び事業税	58,845
法人税等調整額	10,914
法人税等合計	69,759
四半期純利益	128,050

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月16日をもって東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年12月15日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行200,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ84,640千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が167,390千円、資本剰余金が167,140千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

2022年11月11日に提出した有価証券届出書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。